

中学部 第1学年3組 社会科 学習指導案

日 時 〇月〇日 (〇) 3校時

場 所 中学部 1—3 教室

指導者 T1〇

1 単元名 ヨーロッパ州

2 単元の目標

- (1) ヨーロッパ州の特色に関する関心を高め、それを意欲的に追求し、捉えることができる。
(2) 世界に対する影響を考察し、その過程や結果を適切に表現する。
(3) 地域的特色に関わる資料を収集し、有用な情報を適切に選択してまとめる。

3 生徒と単元

(1) 生徒について

本学級の生徒は男子2名である。1名は4月から本校に入学し、1名は短期入院のため8月末～11月末までの在籍予定である。歴史分野では積極的な発言場面が見られるが、2名とも地理分野において苦手意識がある。4月から机上に資料を活用することを継続することで、活用することにより、発問に対するヒントを探したり、グラフを読み取ったりすることが習慣付いてきている。夏休み明けから他学年の生徒を交え、社会的事象について意見交換や対話をする活動の機会を設けることで、自分の意見を発信する姿が少しずつ見られるようになってきた。また、既習事項を思い出して、授業の中で関連性を予想した発言に繋がる場面も見られるようになってきた。

(2) 単元について

本単元は学習指導要領内容〔地理的分野〕(2)「世界の諸地域」②ヨーロッパを指導内容として構成している。ここでは、世界の各州を対象として、それぞれの州内に暮らす人々の生活に関わり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的な観点から、州内の特色を基に主題を設定して、その追究を通してそれぞれの州の地域的特色を理解させることが主なねらいとなっている。「ヨーロッパ州」の地域的特色を捉えさせるに当たっては「様々な問題を乗り越えて成立しているEU」を主題として単元の構成を行う。EUで人、物、金の移動が自由になっている背景から、その利点や課題を考察し、さらに時事ニュース(イギリスのEU離脱)と関連させながら追究する活動を通して、考えを深め社会的事象と主体的に関わろうとする態度を育てたい。

(3) 指導について

単元全体を通して

- ・EUの離脱問題について、より関心がもてるように、10月31日以降の時事ニュースを取り上げ、本時を設定する。
・指導に当たっては、生徒がヨーロッパ州各国の位置関係を確認しながら活動を進められるように、大判地図をすぐに見られるように掲示しておく。
・スイッチ教材や効果音を活用したり、机の配置を変えたりして、生徒同士が話し合ったり、発表したりしやすい雰囲気作りをする。
・時事ニュース「イギリスのEU離脱問題」を主題として捉えさせる過程において、考えるきっかけとなるように、新聞記事やニュース映像を準備する。
・パスポートや共通通貨ユーロなど実物を提示しながら、関心が高まるように、合わせて事例を紹介する。

自立活動の指導について

- ・個々の生徒の実態に即して自立活動シートを作成し、本時の目標を達成するために、指導内容を適切に関連付けている。

4 指導計画（総時数6時間）

ねらい・学習活動	時間	主な評価規準
1 ヨーロッパ州をながめて 自然・文化・産業の特色について 諸資料を用いて概観する	1	小国が多いことや地域による農業が異なることなどを概観し、理解している。
2 ヨーロッパ文化の共通性 多様な民族や宗教と共通の文化特色を諸資料から読み取る	1	宗教をはじめとするヨーロッパの共通する文化について関心をもって読み取っている。
3 進むヨーロッパ統合 統合の歴史をもとに、結びつきを 強めるロシアの産業を合わせてまとめる	1	ロシア連邦とEU諸国の結びつきを、写真や主題図などから読み取ってまとめている。
4 ヨーロッパの課題 EUの課題と今後について時事と 合わせて考察する	1 本時	EUについて時事を踏まえ、説明している。 ヨーロッパの統合を交通、物流、通貨など、資料を読み取りながら関連づけて考えている。
5 ヨーロッパ州の学習のまとめ 経済や政治的背景を踏まえながら 主要な国ごとに特色をまとめる	1	ヨーロッパ州の統合が進んだ背景や現状について、友達と意見を交換しながら捉えている。
6 環境に配慮されたヨーロッパ 国境を越えた協力と観光業について話し合う	1	ヨーロッパの環境に配慮した産業やエネルギー利用を調べ、日本や自分の住む地域と比較し、参考にしている。

5 本時の計画（総時数時6時中の4時）

（1）本時の目標

- ・ヨーロッパ統合のメリットとデメリットから、イギリスのEU離脱問題について考察し、意見をまとめる。

本時の評価規準 EUの統合について時事ニュース（イギリスのEU離脱問題）を踏まえ、説明している。 ヨーロッパの統合を交通、物流、通貨など、資料を読み取りながら関連づけて考えている。			
	A（十分に評価できる）	B（概ね満足できる）	C（努力を要する）
中学校における 評価基準	EU統合のメリットについて人、物、金の視点から説明している。	EU統合について、人、物、金を関連づけて考えている。	EU統合について、資料から読み取っている。
本学級における 評価基準	EU離脱について自分の意見をもち、相手に分かりやすいように理由を伝えている。	EU離脱について自分の意見を発表している。	EUについて概要を理解し、時事ニュースが分かる。

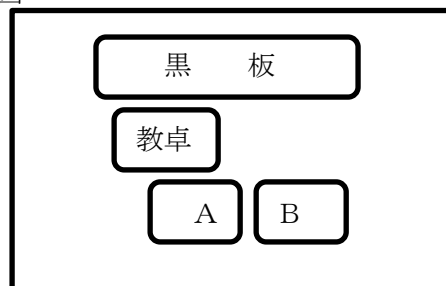
（2）本時で目指す「思考・判断・表現する姿」

生徒名	目指す「思考・判断・表現する姿」	手 立 て
A	ヨーロッパの統合やイギリスのEU離脱について、既習内容を生かしながら、相手の意見を聞き、それに対する意見を述べる。	発表する際は、生徒同士を同じグループとし、1つのカードについて意見を述べるルールとすることで、友達の話聞く必然性を設定する。
B	イギリスのEU離脱について考えたことを、自分から述べようとする	自分から意見を述べるように、教師が生徒の意見に反対することで、自ら反論したい気持ちを促す。

(3) 学習過程

時間 (分)	学 習 活 動	指導上の留意点	準備物
10:55 (5)	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 【めあて】なぜイギリスのEUを離脱するのか ～メリット・デメリットから自分の意見を伝えよう～	・本時のめあてに繋げることができるように、EUの利点を挙げる場面を設ける。 ・11月26日時点のイギリスのEU離脱状況を、説明し、生徒がめあてを意識できるようにする。	メリットカード ノート 前時のプリント
11:00 (6) (6) (6)	2 EU離脱に関するイギリスの動きやEUの課題について、資料を見ながら予想する。(カードを作る) 【視点1】人 ・自由な移動のデメリットや課題について 【視点2】物(輸出入) ・税金のデメリットについて(新たにできる国境) 【視点3】金 ・統一通貨のデメリットについて	・まとめやすいように、視点ごとにメリット・デメリットを書き込むことができるカードを準備する。 (国民投票・首相交代・議会解散) ・発表の際に「です」「ます」を意識できるよう、話形を教室に掲示する。 ・人の移動の必然性が分かるように、難民や経済格差の事例を出す。 ・EUが直面している問題を意識できるよう、ニュース記事の切り抜きを配付する。 ・デメリットを考えることができるように、実物を用意して特徴を伝える。	カード 新聞 外貨
11:18 (22)	3 EU離脱についての意見を出し合う	・スムーズに意見が出るように、キーワードのカードを用意したり、教師が仲介したりする。 ・相手の意見を聞いた上で、自分の意見を発表できるように、生徒同士を「離脱賛成派」とし、教師を「離脱反対派」とする。	メリット・デメリットカード
11:40 (5)	4 めあてについて、自分の結論を簡単に記述してまとめる	・話し合いをもとに、要点を書くよう伝える。 ・1月に迫った新たなEU離脱期限を伝え、イギリスが出した決断について注目するように伝える。	・ワークシート

(4) 配置図



(5) 評価の観点

＜生徒＞＊評価基準を基に評価する。

＜教師＞少人数の生徒同士で意見を出し合うための手立てであったか。